

教育委員会だより

第2号

益田市教育委員会より 平成26年7月17日発行

地域の人と一緒にいろいろ体験したよ！



真砂地区：しば団子づくり



吉田地区：バームクーヘンづくり



西益田地区：稚鮎の放流



吉田南地区：七夕飾り

中須東原遺跡(中須町)が国の史跡に！

文化財課長 木原 光

この遺跡は、今から約八百年前の鎌倉時代に誕生し、南北朝時代から室町時代にかけて、益田氏の管理の下で繁栄した中世の湊町です。

この頃の高津川・益田川の河口部には、潟湖(せきこ)と呼ばれる入江が広がり、外海の荒波や強風の影響が少ないこの場所に中須東原遺跡は築かれました。

発掘調査によって、道路や掘立柱建物、鍛冶工房などとともに、水際には礫(れき)を敷き詰めた舟着き場が発見されました。外洋船から荷物を積み替えた小舟は、このような礫敷きに乗り上げる形で接岸したようです。

湊には、国内遠隔地の陶器や大量の中国・朝鮮産の陶磁器に加えて、遠く東南アジアの陶器も運び込まれていました。

一方、湊からは、山間部の良質な材木や都茂鉱山の銅などが積み出されたと考え



中須東原遺跡の想像図 遺跡は、中須保育所(中須町)の南側から東側にかけての約41,000㎡の草地に広がり、地下に保存されています。今後は、公有地化の後に発掘調査と整備を段階的に進めていく予定です。

られます。

益田氏は、交易による豊かな財力を背景に、幕府や大内氏、毛利氏と安定した関係を築き、戦国の世を生き抜きました。

目次

表紙(学校紹介)	1 P
文化財課長寄稿	2、3 P
教育情報	4 P
カラフル給食タイム	
寄付、寄贈のお礼	

発見！驚き！ふるさと再発見・見学バスの旅

匹見小学校 全校児童

匹見小学校は毎年、裏匹見峡のレストパーク周辺で「クリーン匹見峡」という活動を行っています。今年も島根県西部農林振興センターや匹見総合支所の職員から、樹木や草花について

の話を聞きました。また川遊びもすることができ、有意義な学習をすることができました。特に高学年は森林と私たちの暮らしについて詳しい資料を見ながら話を聞きました。今後は国語や社会の学習とも関連付けながら学習を深めることができそうです。



クリーン匹見峡の活動

森林学習の後はレストパーク内の清掃活動です。炊飯場やトイレ、看板などを縦割り班にわかれて掃除をしました。本校の活動の成果もあつてか、年々ごみは減っているように感じます。これから

もきれいな匹見峡であってほしいと思います。

東仙道小学校 5・6年生

今回の見学でうれしい気持ちでいっぱいになりました。益田市には、世界十大文化人にも選出された雪舟さんが造った庭園が二つもあつたからです。それは不老長寿の願いを込めた医光寺の庭園と、仏の世界と私たちの世界をイメージした万福寺の庭園です。雪舟さんが益田のために心を込めて造つたことを知ってうれしくなりました。

また、その雪舟さんを招いた益田氏のルーツが東仙道に住んでいた益田家であると教えていただきました。雪舟さんと東仙道とのおもしろい関係を知ってうれしくなりました。

さらに、中須東原遺跡が国指定史跡になったことを教えていただきました。東アジアとも交流のあつた全国有数の湊であつたこ

と、そこでは美都町で採掘された銀や銅が、やりとりされてたことを知ってなんだかうれしくなりました。



中須東原遺跡の見学

戸田小学校 6年生

6月に益田市内の史跡巡りを行い、雪舟の郷記念館、スクモ塚古墳、益田市歴史民俗資料館に行きました。

雪舟の郷記念館では、紙芝居を通して雪舟の活躍について分かりやすく教えていただきました。小丸山古墳では、本物の出土品にも触れさせていた

できました。益田市歴史民俗資料館では、中世益田の様子や喜阿弥焼きについて、展示物を通して分かりやすく説明していただきました。

実物を見たり触れたりする学習を通して、子ども達は教科書で学んだ知識をより確かなものにしていました。体験と知識が結びつく学習はとても意義深いと、今回の史跡巡りを通して改めて感じることができました。

〈児童の感想〉

- ・古墳は勉強していたけど、今日の話聞いてもっと深く知ることができてよかったです。
- ・喜阿弥焼きのことを聞いて、家でも探してみたいです。



古丸山古墳の見学

退任A-LTあいつ

ベビちゃん・ジュン

3年間という短い間でしたが、僕にとって人生が変わる、決して忘れられない時間でした。益田市みなさんに、最初から最後まで温かい気持ちでいろんなことや、イベントなどに参加させてもらい、声もかけていただきました。英語を教えるために来ましたが、僕もいっぱい学びました。



僕の大好きな益田の風景

この3年間、こんな素晴らしい町に住むことができ、本当によかったです。益田は僕のHOMEであり、どこに行っても僕の一部になりました。

4月から「つろうて子育てプロジェクト（TKP）」として、学校、家庭、地域で子どもの育ちを支える体制づくりを進めています。

夏休みを迎える子どもたちが、様々な体験活動ができるように「2014サマープロジェクト」を展開しているところなんです。その中で、特に力を入れているのが、放課後児童クラブを対象にした体験活動です。放課後児童クラブの所管は子育て支援課ですが、学校外の子どもの育ちを支えていくという視点に立てば、教育委員会も大きな役割を担うことになります。

そこで、社会教育課が持っている体験活動のノウハウやプログラムを提供しながら具体的な活動の場を作っています。高津児童館と児童クラブ、吉田南ボランティアハウスと児童クラブ、西益田ボランティアハ

ウスと児童クラブ、都茂公民館と児童クラブがそれぞれ連携し、ごはんと味噌汁づくり、ぐるぐるパンづくり、ものづくり、運動遊びなどを実施します。

その活動には、地域の大人たちが中心に関わりますが、中には地元の中学生がボランティアとして参加するところもあります。中学生にも、地域の大人や小学生と活動することを通して、人との関わりを学んでほしいと思います。

夏休みの活動を皮切りに、これから子どもたちが様々な体験活動ができる場所を増やしていきます。



文化財課では、平成16年に国の史跡に指定された三宅御土居跡（三宅町）と、今年3月に新たに国の史跡に指定された中須東原遺跡（中須町）に、大型サイン（説明板）を設置しました。遺跡をよく知っていたために、図や写真も多用した分かりやすい説明内容となっています。



三宅御土居跡の説明板

三宅御土居は、南北朝時代に益田氏11代の兼見かねみが築いたとされ（諸説あり）、以後、中世を通じて益田氏が本拠としました。戦国時代

末期、毛利氏と一時期対立したことから、19代藤兼がいったん本拠を七尾城に移しましたが、その後毛利氏と和睦したため、20代元祥もとよしが三宅御土居を改修して再び本拠としました。遺跡からは、建物の跡だけでなく、井戸や鍛冶場の跡も見えています。



中須東原遺跡の説明板

中須東原遺跡は、中世の港湾遺跡です。舟着き場跡が良好な状態で残っているなど、全国的に見ても非常に貴重なものです。益田地域を支配していた益田氏

が、この湊を拠点に国内外と交易していたと考えられています。

どちらも、益田地域のみならず、日本の中世の時代を知る上で欠かせない遺跡です。

近くをお通りの際は、ぜひ立ち寄ってご覧ください。

今後遺跡の周知を図るとともに、「歴史を活かしたまちづくり」推進のための整備・活用に取組んでいきます。

※整備に関しては、今年6月に「史跡中須東原遺跡整備基本計画」を策定しました。この計画は益田市のホームページ（文化財課）からご覧いただけます。



ワクワクさせる献立

見えないことが生む効果

学校給食は「みんなで楽しく食事をする」ということを体感できる貴重な場です。「楽しさ」と一口にいつても様々な捉え方がありますが、献立に工夫を施す事で日々の学校生活の中での給食が、楽しい・楽しみな時間であってほしいと願っています。美都学校給食調理場では児童・生徒に「楽しさ」を感じてもらおう献立として、鮭のホイル焼きを提供しました。



★一つずつ丁寧に作業していく

この献立の特徴はアルミホイルで覆われている為、配膳した直後は中が見えないという点です。児童・生徒は

給食から感じる「楽しさ」

ワクワクしながらアルミホイルをめくっていきませんが、この一連の動作を通じて気持ちが高ぶり、美味しそうに焼き上がった鮭が見えてくると、食べる意欲が一段と増してくるようです。

調理の難しさは技術でカバー

鮭のホイル焼きは美都調理場の献立としてすっかり定着していて、美都地域に伝わっている「味」ともいえます。

その調理行程は、まずアルミホイルを一定の大きさに切り分けることから始まります。そして下味をつけた鮭にキノコとたまねぎを乗せ、ホイルを手で丁寧に包んで蒸し焼きにします。アルミホイルの中の鮭が見えないので、焼き加減の調整にはかなりの困難を伴いますが、その点は調理員の熟練した技術で補っています。蒸し焼きの際おこげが出来ますが、そのおこげを箸で削いで食べることが必要とされることから、箸の使

★6月13日の献立

麦ごはん、鮭のホイル焼き、牛乳
アーモンド和え、若布スープ



献立作成 浜野 美紀

い方を習得することもねらいのひとつです。

その美味しさから「家庭でも作ってほしい」と熱望する児童・生徒も多く、保護者や教員からも「レシピを教えてほしい」という声が多く寄せられています。

美都学校給食調理場は給食を作るところが想像できるうえ、手作りということも実感できる献立と共に、「楽しさ」も届けられるよう今後も取り組んでいきます。

寄贈、寄付のお礼

学校図書購入費へ寄付

・益田あけぼのライオンズクラブ 様

図書館図書購入費へ寄付

・西中国信用金庫 様

子育てはつぴータイム支援事業へ寄付

・徳栄建設株式会社 様

益田市奨学金へ寄付

・柴田 悟(三宅町) 様

・徳栄建設株式会社 様



益田あけぼのライオンズクラブ 様



西中国信用金庫 様

ありがとうございました。

